



認定特定非営利活動法人

# 青少年の自立を支える会 通信

# 冬

平成31年

会報 第69号

2019年1月

## 目次

### 巻頭

第9回子ども虐待をなくそう！県民のつどい及びプレ勉強会報告

子どもの居場所担い手育成事業専門研修会報告

第21回星の家まつり

第20回チャリティーコンサート開催案内

寄付・会費納入者 編集後記



たくさんのサンタがやってきた（月の家）

## 「青少年自立支援 in ART 創造性はすべてを変える力がある！」

副理事長 林 香君

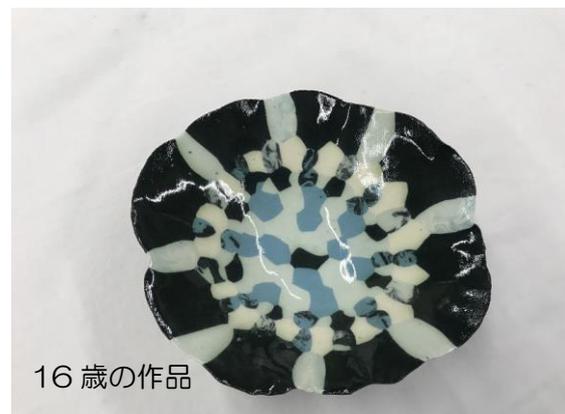
昨年、七色土団子プロジェクトを展開、「子どもの居場所月の家」から始まり、下野三楽園、きぬがわ学園、養徳園、と出来る限りアートを通して関わらせていただいた。経験するチャンスを作ることに大人の力が必要である。等しく持って生まれた感性を「生きる自信」につなげていくことが必要だ。このプログラムは未知の可能性を形にすることが出来る。

新しい未経験の新感覚を脳に記憶させる。無から有を生み出す記憶。オリジナルの美を自ら作り出した記憶。そして使うことで、さらに生活と密接に結びついていくおいしい記憶。人に褒められる記憶。嬉しそうに出来上がりを撫で喜んでいる記憶。このプラス思考の記憶が人生を下支えすると私は確信している。これが決して直球ではない「アートのちから」である。

暮らしていく中で、大きな困難を抱えながらも超えていく力をどのように養うか。私が引き出したいのは、子どもたちの中にある生まれ持った才能のことである。2018年は同時に国立新美術館、栃木県立美術館でも同じプログラムを行った。その比較の中である発見をした。親元から離れている子どもたちの中には不思議な力が残っている。失われていない世界が存在していることを確信した。作品は全国区で見ても遜色なく自由に創造性の高さを発揮している。4歳の天才的な作品からも言える。

活動の中で最も気になるのが、親元と月の家

を行き来している子どもたちの方である。いい作品だが、心を半分閉ざしている様子がわかる。6月の下野三楽園と12月の養徳園は秀作率が高い。実に落ち着いている。時間に追われないからかもしれないが、安心感だけではない信頼感が伝わる時間であった。国立新美術館の日展親子ワークショップを超える創造性である。きぬがわ学園の子どもたちはもう少し年齢が高い。画像の作品は16歳。ここ数年間に行ったワークショップで最も難易度の高い優秀な作品を創った。自信がついたか、焼き上がりの本物の持つ力だろうか、子どもたちは自信を持ち満面の笑顔である。そして愛おしそうに撫で微笑むところに人間の育ちの中で当然得られるはずの瞬間を取り戻していくように感じた。一人一人の顔、作る姿が作品から読み取ることが出来る。その感性や能力の高さは群を抜いて



16歳の作品



いる。サイドワークとしての「アートのちから」は、少しでも子供たちの生きる自信、喜びに繋

がっていけると私は思いたい。

しかし、もっと一般社会の中にいる若年層からしっかり関わらなければという思いを強く持った。もっと体験を増やすことから予備軍を健全化できるように思う。親の支配下にある子供も非常に多いなか、「支援するアートからアプローチ」の一歩として、七色土団子の指導者養成を昨年からはじめた。

羽ばたくまでのプロセスがわかるプログラムはそれほど多くはない。ましてやアートであったら、作品として掌中に心中に宿る。「アートのちから」は心の自立支援でもある。

11月18日（日）、第9回子ども虐待をなくそう！県民のつどいがみやのわホールで開催され、150名の参加がありました。

### 開会あいさつ

主催者を代表して子ども虐待防止ネットワークとちぎ代表の福田雅章氏（本会事務局長）より開会挨拶がありました。はじめに、参加者全員で、虐待で亡くなった児童の冥福を祈って、黙祷を

捧げました。また、子どもを家庭から離さないことが大切。子どもの居場所は、地域での支援として重要な意味を持つ、という話がありました。

### 第一部 基調講演

テーマ 「家族に寄り添って～怒って泣いて、ときどき笑って子育てを」

講演者 社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事 広岡 智子 氏

母親は、子どもを産むことで、解決していた、忘れていたはずの乳幼児期の自分の過去がよみがえってきます。「赤ちゃん部屋のお化け」とも言われます。

生まれたばかりの赤ちゃんを抱いた母親が、「赤ちゃんいらない」と拒絶反応を示すことがあります。そのことは、母親なりの我が子への守り方です。

アリス・ミラーによると、虐待の世代間連鎖は、8割は行われていない、ということです。では、どうして虐待を繰り返す人と繰り返さない人がいるのでしょうか。たった一人でもいいから、親以外の虐待をしない大人と出会ったことがあるかどうか重要となってきます。

愛されて育った子どもは、大人とコミュニケーションを取るのが上手です。一方、虐待を受



けた子どもは、将来にわたって、人とのコミュニケーションを楽しむことができません。しかし、虐待を受けた子どもであっても、出会った大人達によって、驚くほどかわいくなります。

虐待問題を抱える母親たちの自助グループMCG（Mother & Child Group）に関わっていますが、母親の周りに話を聞いてくれる人がいない、孤立している人が多いです。



男性は、虐待の話を聞くと、自分のことだと思わず、他人ごとのように感じますが、女性は子育ての矢面に立っているため、特別なことと

はとらえません。

抱いてもらった母親から虐待を受けるほど心を傷つけるものではありません。児童虐待は、長期のPTSDとなります。

支援者は、理想とする「大人」「子ども」を目指してはダメです。できることを評価して、完璧を求めず「控えめな援助」を気長に続けるのが大切です。

支援者は、与えることばかりに熱心になりませんが、支援している人から与えられること、もらうことの重要性について忘れてはいけません。

## 第二部 シンポジウム

テーマ 「家族を支えるための居場所の必要性」

コーディネーター 福田 雅章 氏

シンポジスト スペシャルコメンテーター 広岡 智子 氏

仲村 久代 氏 (NPO 法人サバイバルネット・ライフ理事長)

村上 静 氏 (児童家庭支援センターにここ広場臨床心理士)

直井 茂 氏 (栃木県県北児童相談所所長)

### 村上 静 氏

児童家庭支援センターは、全国に124カ所あり、そのうち乳児院併設型は11カ所です。家庭訪問を行うときは、子ども対応のスタッフと保護者対応のスタッフ2名で訪問し、保護者の話をゆっくり聞ける体制をとっています。

母親の「愛されたい」「愛してほしい」など自分がしてもらえなかったこと、親であることの苦しさを整理していきます。

本当に大変なときは、相談に行くエネルギーがありません。だからこそ、地域の声かけが大切で、それが、次の相談につながっていきます。

### 直井 茂 氏

「居場所」は、ネグレクトに対応する場所です。実母からの虐待は62%、実父からは28%です。一人親家庭の貧困率が高く、働いているのに低収入で、更に親族や地域から孤立している状況です。家がごみ屋敷になっている家庭がありますが、片付けや子育てのエネルギーが無くなっていることの現れです。

児相は、ハイリスク家庭が優先で、生命に関わらないネグレクトの子どもへの対応は後回

しになってしまう。長く虐待にさらされていると、子どもへの影響が大きくなる。親子を分離せず、地域で育てることが大切。

### 仲村 久代 氏

居場所に来る子どもの経験の貧困を感じます。野菜不足で、果物を食べた事がない子がいたり、極度の肥満だったり、痩せの子もいます。未処置の虫歯があっても、病院に連れて行ってもらえない現実があります。

養育者(母)の関係性の貧困問題があります。多子で、若年出産、夜間就労、夫からのDVなど。DVが原因で、精神疾患、うつを煩っている母もいます。母から子どもへの依存が強いと、子どもはその後生きづらさを感じるようになります。

### 広岡 智子 氏

虐待を受けている子どもを見てしまうと、親の立場に立てなくなります。子どもの治療も親も治療も基本的に同じですが、一つの機関で双方を見るのは難しいです。児相も分離することで精一杯。援助は控えめに、多職種と連携を図

るのがいいと思います。

8月25日(土)、第9回子ども虐待をなくそう！県民のつどいプレ勉強会が開催されました。

## シンポジウム

テーマ 子どもの貧困・虐待の連鎖を断つ  
～子どもの居場所、子ども食堂、学習支援の現場から～  
コーディネーター 福田 雅章 氏  
シンポジスト 行政：増山 孝之 氏（宇都宮市子ども家庭課子ども家庭支援室）  
子どもの居場所：星 美帆 氏（月の家）  
子ども食堂：木村 京児 氏（やまのてこども食堂）  
学習支援：中野 謙作 氏（無料学習支援教室・昭和子ども食堂）  
活動報告 子ども虐待防止ネットワークとちぎ  
子ども SUNSUN プロジェクト

### 増山 孝之 氏

中学で生徒指導をしていました。問題行動の多くは貧困家庭の子どもです。自分の声を発することができない乳児の対応は特に気をつけなければなりません。居場所に子どもが通うことで、心地よさを感じてもらいたいです。将来の家庭像を描いてもらいたい。それが、貧困の連鎖の脱却につながります。親に支援を届けることも居場所の目的です。親が孤立しており、いろいろな支援があるのに、利用できていないこともあります。

### 星 美帆 氏

「月の家」での食事や入浴をとおして、家庭が見えます。学習をとおして学校での様子が見えます。バトミントンをやったことがないなど、遊びの経験が足りないことがわかります。親を変えることは大変です。子どもたちに普通を持って帰ってもらう。「月の家」で、子どもたちの心を解放してあげたいと思っています。

### 木村 京児 氏

こども食堂を、2016年に開設しました。

週一回で、毎回15名ほど参加しています。



毎回同じ服を着て不衛生な子どもには、家庭訪問を行い、母から話を聞くこともあります。その母は、「着替えなさい」と注意はしているが、最後は子どもの問題、自主性に任せる、と突き放しています。

### 中野 謙作 氏

低学歴、低年齢出産と離婚経験は、貧困のリスク因子となっています。収入が低いと十分な教育が受けられず（低学歴）、就職で不利になり、収入の高い仕事につけず、その子どもの世代も貧困になります。貧困の連鎖を止める支援の一つが学習支援です。

子どもの居場所担い手育成事業専門研修会（第1回～第3回）が開催されました。

第1回 平成30年7月7日（土）

テーマ ADHD児・LD児の理解と対応

講師 栃木県中央児童相談所副主幹兼判定指導課長 岩井 幸祐 氏

発達障がい児は、知的に遅れがないため、周りから理解されにくいです。注意されることが多いと、自分に自信がなくなり、肯定感が低くなります。二次障害として、不登校、引きこもり、非行などがおきます。服薬により、落ち着かせることはできますが、対人関係や学習のスキルを学ばせません。

#### 学習指導の工夫

- ・行間を広げる。
- ・罫線を入れる。スラッシュを入れる。
- ・プレッシャーを与える声かけをしない。
- ・スモールステップ
- ・たくさんのことは求めない。

第2回 平成30年7月14日（土）

テーマ 子どもとのコミュニケーションのとり方について

講師 栃木県中央児童相談所副主幹兼判定指導課長 岩井 幸祐 氏

被虐待歴があったとしても、一定の安定した対人関係を持つことで、安定したアタッチメントを獲得できます。安全な愛着の必須要素は、喧嘩しないことではなく、仲直りすることができること。「問題を起こす子どもへの対応＝発達を促す支援」です。

#### 居場所ができること

- ・人といることの安全、安心の実感を得る。
- ・「できた！」という体験
- ・困ったことを助けてもらって克服できたという体験→負の感情を自分でコントロール出来る自信につながる。

第3回 平成30年9月26日（水）

テーマ 生活の中の性～施設で生活する子どもから学ぶ性の考え方とかかわり方

講師 児童養護施設養徳園心理士 東 瑞恵 氏

#### 施設の性的問題

・家で性的虐待があった子が施設の中で再び被害を受けることがあります。性的虐待を受けたことによる無力感を何とか克服するために、再び同じような場面に自分の身を置いてします。

・性化行動・無意識に学習した性化行動をとってしまうこと。

- ・重度のネグレクトは、性的虐待を受けていないのに性的逸脱が見られる場合があります。寂しくて無性に人肌恋しくなる。
- ・「私たちは大切な存在である」ことを実感し、お互いに尊重し合っていくことができるようにするのが、広い意味での性教育

10月21日（日）、第21回星の家まつりがろまんちっく村にて開催されました。

今年も昨年同様、「道の駅うつのみやろまんちっく村」内のローズハットとその前の広場で星の家まつりが開催されました。今年のまつり当日は天候にも恵まれ、たくさんのお客様にお

越しいただきました。そしてまつり当日だけでも、約150名のボランティアさんが集まって下さいました。陳列から照明に至るまで各コーナーで様々な工夫をして下さり、準備、販売、



片付けがとてもスムーズでした。ただ、今年はジャパンカップサイクルロードレースと日程が一緒だったため、道や駐車場が混雑しており、ボランティアさんもお客様も大変だっただろうと思います。

今年の目玉は、(株)ウナンさんが用意して下さった大型ウイング車の特設ステージ！広場のステージから流れる大人なジャズや、元ブルーコメッツのヒロ森本バンドによるグループサウンズなどに誘われて、直売所から見に来て下さったお客様も多数いらっしゃいました。ゴスペル、アフリカンダンスチームも会場を盛り上げて下さいました。

バザーを目的にやって来られたお客様で、開店前から長蛇の列ができ、開店と同時にローズハット内は一気に賑わいました。ローズハット内でも、バンド演奏やフラダンス、どじょうすくい&スコップ三味線が披露され、ステージ前席は常にお客様が。午後は毎年恒例のオークションもあり、長く滞在される方が多かった様に思います。食品や日用品は人気で、早めに店じ

まいとなるコーナーもありました。

そして今年も、テントやテーブル、イスをイベントワーク(株)さんが用意して下さい、綿あめコーナーでもご協力いただきました。模擬店もお昼時には列ができ、ラーメンやピザなどは完売と大盛況で、全体では140万円を超える売り上げがありましたことを、ご報告いたします。

物品集め、値付け作業からまつり当日まで、皆様のご協力がなければ、星の家まつりはできませんでした。ご協力いただいた皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。こうやって支えて下さる方々がいてこそ、星の家、月の家、はなの家の活動が成り立っています。ありがとうございます。

\*ご提供品の中に、写真入りのアルバムが入っていました。お心当たりのある方は、星の家までご連絡下さい。



## 第20回記念 チャリティーコンサート 倉沢大樹とイカしたジャズの仲間たち

日時 平成31年3月10日(日) 15時開場 15時30分開演

場所 宇都宮市文化会館大ホール

出演者 倉沢大樹

友情出演 岡田嘉満(テナーサクソ)、島田絵里(フルート)、バナナジャム(ジャズコンボ)

チケット販売中(自由席1000円)(連絡先 星の家 028-666-6023)

出演者の無料出演の協力を得て実施しています。

開場を満員にしてその善意に応えたいと思います。

# 寄

## 付・会費納入者

平成30年7月1日から平成30年12月未まで 敬称略・順位不同

### ●正会費

浅香 勉 浅香のり子 浅川信明 天池悦子  
天野幸子 荒川泰行 安城興一 生野裕子池  
谷正宏 石川浩子 石原幹司郎 糸井 克  
伊藤 一 岩田友子 岩村由紀乃 岩本友子  
宇賀神慶子 碓氷明子 遠藤 忠 大島 聡  
大堀美知 岡 孝夫 小川暢子 小村嘉子  
小友 茂 小野澤喜美 片桐洋史 加藤祥圭  
加藤雅子 金子哲也 川崎直美 北村光弘  
吉光寺ヒロ子 倉持まゆみ 毛塚義明 古口  
敏弘 越井みどり 小林幸正 小堀 泉 小  
柳麻衣子 近藤峰明 斉藤幸子 斎藤 禎  
齋藤洋子 酒井由理 坂本真紀子 佐々木康  
子 笹沼栄子 眞田富美子 渋川典子 白上  
桂子 人権センターとちぎ 鈴木啓市 鈴木  
崇宏 鈴木友之 瀬畑宥文 曾根美穂子 高  
橋文吉 高原恵子 竹内明子 田崎祥江 田  
村 隆 田村範子 田村嘉應 多門 孝 千  
野ヤイ 塚本明子 手塚美知子 豊田省子  
直井 茂 仲西美奈子 中村和子 仲村久代  
中山裕美子 野中芳久 埴 智江 桧山智子  
桧山康子 平岡真由美 平木千紗子 福澤英  
子 福田智恵 福田初美 福田雅章 藤井幸  
子 星 紀彦 星 秀彦 本田広美 前川聿  
子 増山民江 増山 均 増淵民子 増山  
誠 松本甚一 三好洋子 村山博之 柳田  
俊 矢野浩美 矢野正広 山口京子 山口恵  
子 山田昭利 山田みやこ 横松 晃 若林  
勝治 渡辺やす 渡辺ヨシ子

### ●賛助会費

青木武次 青木紀夫 青柳美子 秋元武夫  
阿久津マキ子 阿部充子 新井重陽 新井照  
子 荒川明美 五十嵐紀久子 池 節子 池  
田とし江 石川孝子 石塚和子 石塚純江  
石原栄子 井田紫衣 市川義章 上田昌弘  
上田由美子 上野貞雄 浦部延子 枝野啓子

及川孝子 大木一俊 太田黒武久 大塚武昭  
大野育代 岡部昇子 岡本貞子 小川智暁  
小川 守 小野崎千鶴子 小野澤昭吉 柿沼  
恵美子 角海京子 梶田みどり 加藤勝子  
金澤伸子 金子 達 加納真理 上明戸晋史  
上明戸智子 上岡和江 川辺佐知子 川辺  
晋 喜内静美 喜内敏夫 君嶋福芳 日下部  
美智江 倉田克己 古口 保 小島寿美代  
小平幸二 児玉恵里 狐塚良子 小林三千代  
小堀栄美子 小森峯子 近藤隆俊 斎藤孝子  
斎藤文子 斉藤好江 坂本節子 坂本政子  
坂本恭男 佐藤明宏 佐藤文代 佐藤正行  
佐藤善光 澤田政孝 芝野行雄 渋井淳子  
須黒雪枝 鈴木恭子 関 道夫 早乙女順子  
曾根洋子 高久礼子 高野静子 高橋真知子  
竹内美由紀 館野晴代 谷崎 誠 鶴田智子  
鶴田 誠 寺内晴美 東城 守 徳原和子  
豊島優子 長久保ウタ子 中村和夫 中村右  
子 那須恵子 西岡 隆 西山智彦 根本智  
子 萩野なぎさ 萩原寿夫 橋本伸子 橋本  
憲子 橋本正行 原田寛子 日野奈々子 廣  
瀬 裕 福泉水玲 福岡 昭 福田喜江子  
福田静江 福田仁美 藤本 早 古頭岳夫  
増田容子 鱒淵澄子 増淵雅子 松島澄子  
松本美佳子 村尾光子 村山直樹 村山雅子  
森久美子 安 正幸 谷田部武男 八巻正治  
山口静江 山口尚子 湯沢千恵子 湯澤典子  
吉澤栄子 吉澤卓男 吉田久枝 吉田依子  
林谷和憲 林谷政子 和久井隆 鷺尾良司  
渡辺厚子 渡部桂子 渡辺秀子 和田 均

### ●団体会費

養徳園 芙蓉地質株式会社 (有) 在宅サポ  
ートこころ 弁護士法人のぞみ法律事務所  
医療法人ひだまりの森クリニック ゆうゆう  
保育園 医療法人佐藤クリニック 株式会社  
ガス検 医療法人社団友志会 藤田勝春法律  
事務所

### ●寄付

秋元武夫 阿久津三千代 東 瑞恵 阿部充  
子 新井重陽 荒川泰行 池 節子 石江由  
美子 石川浩子 石塚 毅 石原栄子 石原

けい子 石原敏江 井田紫衣 糸井 克 岩  
田友子 岩村由紀乃 植竹 清 上田昌弘  
宇賀神慶子 宇都宮南ロータリークラブ 浦  
部延子 海老原清修 遠藤 忠 大石保幸  
大浦智子 大嶋洋子 大野育代 岡村英志  
小材嘉子 小野崎千鶴子 柿沼真里 角海  
京子 加藤カヨ 加藤祥圭 加藤雅子 加納  
真理 株式会社ガス検 鎌田篤子 上明戸晋  
史 上明戸智子 川田俊彦 神戸好伸 岸本  
まち子 北村長栄 北村光弘 吉光寺ヒロ子  
倉前満里子 倉持まゆみ 古蔵恒雄 小島寿  
美代 小平光志 児玉恵里 後藤 隆 小林  
和彦 小林幸正 小堀 泉 小堀栄美子 近  
藤峰明 斎藤幸子 斎藤孝子 齋藤洋子 斎  
藤好江 坂本政子 佐々木康子 笹沼栄子  
佐藤明宏 佐藤貴美子 佐藤文代 佐藤マサ  
ノ 佐藤正行 佐野市更生保護女性会 椎野  
三千子 渋井洋子 渋川典子 新宮晴子 鈴  
木岳幸 鈴木恭子 鈴木友之 須藤正子 曾  
根美穂子 高木 勇 高木 尚 高原恵子  
竹原豊子 舘野晴代 田村孝夫 田村嘉應  
多門 孝 槌江徳子 土屋キミ 手塚美知子  
寺内晴美 豊田悦孝 直井 茂 長島整形外科  
長靴をはいたねこ 長島久登 中村郁子  
中村和子 株式会社ニッカネ 野中芳久  
萩原寿夫 橋本美奈子 医療法人ひだまりの  
森クリニック 日原拓美 宇都宮乳児院ひま

わり会 桧山康子 平川悦子 深津寧子 福  
澤英子 福田静江 福田智恵 福田知美 福  
田初美 福田雅章 富士ゼロックス栃木端数  
倶楽部 古頭岳夫 甫坂 哲 星 紀彦 星  
秀彦 本澤祥子 本田広美 鱒淵澄子 増淵  
民子 増淵雅子 増山律子 三好洋子 村山  
直樹 村山雅子 柳田 俊 矢野正広 山口  
京子 山口恵子 山崎順子 山田倫代 山本  
緑 ゆうゆう保育園 横松 晃 吉川泰夫  
林松寺 和久井隆 渡辺厚子 渡辺ヨシ子

なお、沢山の方から食品や日用品などの物品  
をいただいております。ご芳名は省略させて  
いただきますが感謝しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら事務局までお問  
い合わせください。会費の納入及び寄付につ  
いては預金口座の引き落としも可能ですので  
事務局にご相談ください。

#### 【編集後記】

福祉業界はどこも人材難。子どものケアの  
現場で活動する人を求めています。ポランテ  
ィアから正社員まで関心のある方はご連絡く  
ださい。

3月10日のチャリティーコンサートのチ  
ケット買ってください。(福田)

#### 【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

\* 通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、

正会員：5,000円、賛助A：5,000円/一口、賛助B：1,000円/一口、賛助団体20,000円/一口です。

\*\*\* 振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております！\*\*\*

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

発行日/ 2019年2月10日

発行責任者/ 星 俊彦

編集責任者/ 福田雅章

所在地/320-0037 栃木県宇都宮市清住 1-3-48

電話/ 028-666-6023 FAX/ 028-666-6024

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

HP/ <http://www.jiritsu.org>